

社協たより

第164号

2014.12.1

点字・墨字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市大字山部616-145
TEL 0949 (23) 2551 FAX 0949 (23) 2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP : http://www.nogata-shakyo.org/



知ることは
結ばれること

もくじ

●障害があっても働く 2

●地域の輪(会下町内会)

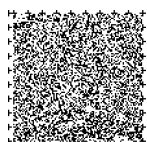
情報の広場 (県内一斉無料電話相談・障がい者虐待防止
センター・もちつき会)

図書室(我が心の博多、そして西鉄ライオンズ) ... 3

●お知らせ (福祉まつり・男性介護者のつどい・日常生活
自立支援事業)

ご寄付(九州アートトラック愛好会) 4

私たちの社会を
実現したいもの
です。(石黒)



私たちは日頃、無知ということから様々な間違いを起こしてしまいがちです。
特に障害者差別は無知や無関心によるものが、起因していると言われます。
この度、聴覚障害者の災害時支援の一環として「聴覚障害者」「手話サークル」と書かれたバンダナが完成しました。
このバンダナは、災害時に視覚からしか情報を得ることができない聴覚障害者が現場での行動に遅れがでないように、周りから声をかけてもらう役目と、手話ができる人とを結びつける役目があります。
しかし、一番大切なのは、災害に関わらず日常から関心を持つことだと思います。
平成26年9月の直方市議会定例会では「手話言語法」(仮称)の制定を求める意見書について、原案が可決されました。
「市民一人ひとりが輝き笑顔つながるまち」に向けて、手話に対する理解を深め、誰もが、手話を使うことができる社会を実現したいものです。

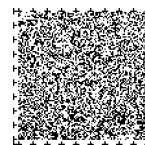
kantera

カンテラ



聴覚障害者の災害SOS

障害者と企業がWIN・WINの関係に ～働く喜びが、生きる喜びに～



障害者雇用の現状について、福島県障害者就業・生活支援センター（以下、県央）、センター長の横谷 佳代さん、主任就業支援ワーカーの堀 雄司さんにお話を伺いました。

障害者就業・生活支援センターとは

一般就職を目指す障害者の仕事と暮らしを一体的に支援する機関で、福島県内には13箇所の障害者就業・生活支援センターがあり、県央は平成18年からスタートし、現在は直轄2市2町を中心に、障害者や企業などからの相談を受けながら、年間30人程の障害者を一般就職へ結びつけています。

障害者雇用について

障害者の雇用は「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、事業主に對し、常時雇用する従業員の一定割合以上の障害者を雇うよう義務付けています。50人以上規模の民間企業においては、法定雇用率（20％）に相当する数以上の障害者を雇用しなければならぬとされています。

県央には、積極的に障害者を雇用したいと希望する企業からの相談もあり、雇用に結び付いた障害者の約80％は1年以上仕事を継続しています。中には、10年以上雇用されている人もいます。

障害者が働きやすい環境を整えるには、企業側にも短時間労働や仕事を固定するなどの配慮が必要となります。従業員と障害特性について学習したいと、企業側から希望されることもあります。

お互いが対等な関係に

仕事や人間関係が上手くいかず、辞めてしまうこともあります。が、企業と障害者、どちらも「WIN・WIN」の関係で働けるよう、つないでいくことがとても大切です。



直方市内で障害者を雇用している読売センター直方北部販売店の所長さん（写真左の右）と従業員の矢山佳枝さん（写真左の左）にお話を伺いました。

難病の発症と戸惑い

「就職して5年になります」こぼれるような笑顔で、矢山さんは話されました。中学校3年生の時に自転車での転倒、皮膚の感覚の麻痺、階段でのつまづきなど体の異変に不安を感じていました。高校に進学するも体の異変はさらに悪化し、3年生の時に神経難病である多発性硬化症と診断され、学校を中退し、自宅療養してきました。

就職に向けての 一歩

矢山さんは、体調が少しずつ良くなってきたと「このままでは、ひきこもりになるかもしれない。他人との接点が欲しい」と強く思うようになり、県央の紹介で現在の読売センター直方北部販売店に就職しました。

お互いの関係の中で

矢山さんは「所長さん、販売員さん、お客さんとの接点の中で明るくなることができました」と語ります。

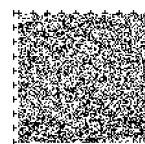
所長さんの前向きな考えと、それを理解してくれるすてきな仕事仲間、笑顔で受け入れる矢山さんはとてもよい関係だと感じました。

働く喜びが、生きる喜びに

矢山さんの仕事内容は、事務、電話対応、集金など多くのことをこなしています。バイクでの通勤は季節の移り変わりを感じ、お客様への集金にも役立っています。今年春からは夜間定時制高校に通学し、卒業に向けてがんばっています。

障害の息子がいる私は、お二人の取材をとおして、障害を持って仕事に就いている人たちを、多くの人々が心豊かに受け入れてくださればと願っています。

（田中）



地域の輪

地域に根ざした独自の
福祉活動をご紹介します。

「住み慣れた地域で。一歩ずつ前へ」

会下町内会



けて」などと一軒一軒に声をかけます。中には手作り歌詞カードをプレゼントする方もいます。また、ちよつとした困りごとがあれば、特技を生かして、水漏れパッキンの交換や荷物の移動などの作業にも協力します。

会下町内会は坂道の多い地域で、バス停までに徒歩20～30分かかるとことや町内にスーパーが無いことなど、買い物に行きにくいという課題を抱えています。高齢者の中には「自分でスーパーに行つて商品を選びたい」というニーズもあり、今後どのように対応すればよいか知恵を出し合っています。

会下町内会は昨年の12月から高齢者支援の一環で、月に1度、11名の一人暮らし高齢者を対象として、自宅を訪問しながら声をかける活動を開始しました。町内会の地区によつては90%近くが高齢者という地域もありますが、つながりは強く、自治会には90%以上が加入しています。



情報場の広場

福岡県内で一斉無料電話相談を実施します。

12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定め、福岡県内では、一斉無料電話相談を実施します。

日時 12月6日(土)

9時～17時まで

相談内容

いじめ、体罰などの子どもの人権、同和問題、えせ同和行為など人権に関する問題、金銭貸借・売買、一般の法律問題、相続・離婚・扶養などに関すること

TEL 0120(307)405

(フリーダイヤル)

相談担当者

法務局職員

人権擁護委員

主催

福岡法務局直方支局

直方人権擁護委員協議会

問い合わせ

福岡法務局直方支局

TEL 0949(22)1144



障がい者虐待防止センターにご相談ください。

私たちの周りでは、障害者の尊厳を傷つける様々な虐待が発生しています。直轄地区2市2町では、相談窓口を設置し、虐待の防止や早期発見に取り組むため、障がい者虐待防止センターを設置しています。

問い合わせ

障がい者虐待防止センター

るーぷる

TEL 080(6424)2271

(24時間対応)

※平日(月曜～金曜)の8時30分～17時は直方市役所健康福祉課 障がいサービス係でも対応しています。

TEL 0949(25)2139

日曜出合いの広場「もちつき会」を開催します。

障害や年齢に関わらず出合いとふれあいを深めます。

日時 12月21日(日)9時～13時

場所

直方市総合福祉センター駐車場

問い合わせ

直方市社会福祉協議会
TEL 0949(23)2551

図書室



「我が心の博多、
そして西鉄ライオンズ」

著者 岡田 潔

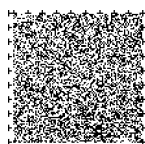
発行所 海鳥社

福岡県立図書館所蔵

著者が少年時代を過ごした昭和33年代前後は、貧しくても、街のあちこちに心を満たしてくれる人、風景が存在していた。そこからいろいろなものを学び、人としての骨格を形成してくれた気がする。当時、木造の旧博多駅、土ぼりの舞う道路、そして「神様、稲尾様」日本一の西鉄ライオンズ、平和台球場。そして映画、石原裕次郎、小林旭、赤木圭一郎、浅丘ルリ子、片や東映、中村錦之助、東千代之介、片岡千恵蔵。

お金の無い少年たちが映画館へ、ただで潜り込む知恵を絞ったことか。大切な心の風景を失った今あの頃を思わず声を出して笑う快感を遠慮なく堪能してください。

(広田)



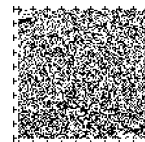
直方市民の福祉まつりを開催しました。



「押すのはちょっと難しかったけど、上手って言われたので良かったです」「乗るのは少し怖かったけど、スロープを上手く曲がれたから良かったです」これは、車いす体験後の小学生感想文です。

車いす体験には、子どもや孫を連れた方、将来車いすを使うかもしれないという方など多くの方に体験していただきました。福祉体験をとおして、今までと違った見方を感じていただければと思いました。

他の体験コーナーでは見えにくさ、点字、手話、高齢者疑似、昔遊び、ステージでは手話コーラスや大道芸なども行われました。10月26日(日)は、市内にて多くのイベントが行われていましたが、570名の方が参加され、第38回福祉まつりはにぎやかに開催されました。(藤田)



つらさや喜びの語りあいが、地域で孤立しない介護の一步に！

男性介護者のつどいを開催します。



男性介護者のつどい(第1回)を開催し、ご自身の介護経験や介護中の悩みなどを意見交換しました。

妻が若年性認知症になった際、介護と仕事どちらを選択するかという難しい課題、パニック状態になった母を叩いてしまい、すさまじい後悔の念にかられたこと、介護者にも息抜きが必要なことなど、お互いの経験を分かち合いました。

次回のつどい：12月6日(土) 13時30分～

場所：えみくる(直方市津田町7-20)

問い合わせ：直方市社会福祉協議会

TEL：0949(23)2551

福祉サービスの利用や金銭管理でお困りではありませんか？

日常生活自立支援事業のご紹介

Q どんな人が利用できますか？

A 認知症、知的障害、精神障害などで、判断能力が不十分なため日常生活でお困りの方

Q どんなサービスがありますか？

A 1、福祉サービスの利用のお手伝い
2、日常的なお金の出し入れのお手伝い
3、預金通帳、銀行印などの大切な書類などのお預かり

Q 費用はかかりますか？

A 相談は無料ですが、契約後利用料が必要です。(生活保護世帯は無料です)

問い合わせ：直方市社会福祉協議会

TEL：0949(23)2551

● 植木 下元 盛光
九州アートトラック愛好会
● エンドラスト 会長 熊谷 博幸
● 医療法人 健明会
● 介護老人保健施設 青風苑
● 直方市民生委員児童委員協議会
会長 篠原 照行

● 一般寄付金
● 植木 下元 盛光
● 九州アートトラック愛好会
● エンドラスト 会長 熊谷 博幸
● 医療法人 健明会
● 介護老人保健施設 青風苑
● 直方市民生委員児童委員協議会
会長 篠原 照行

● 植木 下元 盛光
● 九州アートトラック愛好会
● エンドラスト 会長 熊谷 博幸
● 医療法人 健明会
● 介護老人保健施設 青風苑
● 直方市民生委員児童委員協議会
会長 篠原 照行

● 植木 下元 盛光
● 九州アートトラック愛好会
● エンドラスト 会長 熊谷 博幸
● 医療法人 健明会
● 介護老人保健施設 青風苑
● 直方市民生委員児童委員協議会
会長 篠原 照行

● 植木 下元 盛光
● 九州アートトラック愛好会
● エンドラスト 会長 熊谷 博幸
● 医療法人 健明会
● 介護老人保健施設 青風苑
● 直方市民生委員児童委員協議会
会長 篠原 照行

● 植木 下元 盛光
● 九州アートトラック愛好会
● エンドラスト 会長 熊谷 博幸
● 医療法人 健明会
● 介護老人保健施設 青風苑
● 直方市民生委員児童委員協議会
会長 篠原 照行

● 植木 下元 盛光
● 九州アートトラック愛好会
● エンドラスト 会長 熊谷 博幸
● 医療法人 健明会
● 介護老人保健施設 青風苑
● 直方市民生委員児童委員協議会
会長 篠原 照行

● 植木 下元 盛光
● 九州アートトラック愛好会
● エンドラスト 会長 熊谷 博幸
● 医療法人 健明会
● 介護老人保健施設 青風苑
● 直方市民生委員児童委員協議会
会長 篠原 照行

● 植木 下元 盛光
● 九州アートトラック愛好会
● エンドラスト 会長 熊谷 博幸
● 医療法人 健明会
● 介護老人保健施設 青風苑
● 直方市民生委員児童委員協議会
会長 篠原 照行

● 植木 下元 盛光
● 九州アートトラック愛好会
● エンドラスト 会長 熊谷 博幸
● 医療法人 健明会
● 介護老人保健施設 青風苑
● 直方市民生委員児童委員協議会
会長 篠原 照行

